

2022年5月6日

電源開発株式会社 代表取締役社長 渡部 肇史様

瀬戸石ダムを撤去する会

共同代表 出水晃 上村雄一 緒方俊一郎、本田進

連絡先 869-0222 熊本県玉名市岱明町野口 927

TEL:080-3999-9928 FAX:0968-72-5604

E-MAIL: tsuchi_tk@yahoo.co.jp

瀬戸石ダムの貯水開始に対する抗議文

貴社は、瀬戸石ダム撤去を求める流域住民の声を無視して、本日、瀬戸石ダムの貯水を開始しました。一昨年7月4日の豪雨災害で明らかになったように、瀬戸石ダムは球磨川中流域の治水の癌ともいえるものです。この日、瀬戸石ダムがあったせいで、ダム上流域では更なる水位上昇を引き起こしました。国土交通省の資料でもダム地点で5メートル程の水位上昇を引き起こし、水位上昇はダム上流5キロメートル地点まで続いています。

また、貴社によるダム湖の土砂の撤去作業が不十分だったせいで、いまだにダム湖には大量の土砂が堆積しています（貴社資料によると2021年10月時点で61.4万m³）。ダム湖周辺住民の証言によりますと、ダムが出来てから4mから10mくらい球磨川の水位が上がったということです。これらのことからダム湖の土砂堆積が豪雨災害を酷くしたことは明らかです。ダムが無かったなら、犠牲者を出すほどの惨事にはならなかったと思われれます。

ダム下流域ではJR瀬戸石駅舎や駅付近の民家が跡形もなく無くなっています。これは明らかに瀬戸石ダムの放流によるものとしか考えられません。

貴社はこのように、瀬戸石ダムの問題を放置したまま、再稼働に向けた準備を進めていますが、こういった問題については何ら対策が取られている訳ではありませんので、一昨年クラスの豪雨に襲われたら、ダムの上下流の住民や民家や国道219号線など周辺の道路に再度、多大な被害を与え、復旧のめどが立たないJR肥薩線をさらに傷付けることとなります。

私たちは貴社の住民無視のこのような瀬戸石ダムの再稼働ありきの貯水開始に対して強く抗議するとともに、貯水の中止、被災者への謝罪、流域住民への豪雨災害に対する瀬戸石ダムの影響に関する説明を求めます。

以上